



- そば学科 ● おさけ学科 ● デザイン学科
- ゼロ円あーと工房 ● クラフトビール部
- てがみ学科 ● 里のしぜん学科 ● カフェ部
- 酒づくりの会 ● かたのカンヴァス

交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！ 令和5年1月号



2023年、今年もよろしくお願いします。

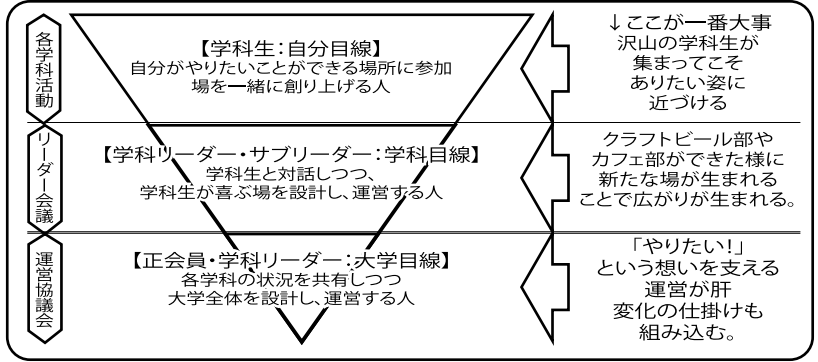
みなさん、新年明けましておめでとうございます。
二〇二三年の冒頭を飾る今号は、交野おりひめ大学の篠崎学長をお迎えし、昨年の振り返りや、大学の今後の取り組みなどについてお聞きしたいと思います。

筆者：篠崎学長、よろしくお願いします。
篠崎学長以下、学長：昨年5月に、交野おりひめ大学の学長を拝命した篠崎です。交野新聞の紙面をお借りし、皆さんに新年のご挨拶を申し上げます。

筆者：篠崎学長、さて、昨年を振り返りも含め、今のお気持ちはいかがですか？
学長：理事会にすら出たことのない私が交野おりひめ大学の代表となりおおよそ8カ月が経過しました。学長になった当初、大学の基本コンセプトである「一人じゃできない事を、10人、50人、100人で」に立ち返り、「やりたいことが出来る場」の提供に徹すると宣言、学科生の皆さんにわかりやすく理解いただくため逆三角形の構造を示しました。（下図）「やりたいことを勝手にやっている団体」と受け止められることも多いおりひめ大学ですが、「やりたいことが出来る場」というのは、一人一人の人生にとっても、地域社会にとっても極めて大事だと思います。

筆者：まずは、大学新体制の基盤づくりといったことでしよつか。
学長：全ての新しい取り組みや、新しい事業は、誰か一人の「やりたい！」から始まります。「私もやりたい！」と、一緒に取り組む人が現れ、

「私もやりたい！」と、一緒に取り組む人が現れ、



試行錯誤していった先に何かが生まれるのではないでしよつか。
筆者：そんななか、クラフトビール部関連で、大きな動きがありました。
学長：交野おりひめ大学で「クラフトビールをやりたい！」と思う人が現れ「ホップ作りをやりたい！」「醸造を体験したい！」「色んなクラフトビールを味わいたい！」という様々な想いが重なり、「株式会社シビック・アンド・カンパニー」という地域商社が立ち上がりました。
藤が尾に拠点を作り、クラフトビールの販売を開始、醸造所の立ち上げに向けて、資金集めを開始しています。
「やりたい！」の力は「すごい！」と思えます。
筆者：交野産の原料にこだわったオリジナルのクラフトビール、醸造所のオープンが楽しみです。

学科生募集中！



他団体との連携など、どうでしよつか。
学長：交野おりひめ大学は、昨年から子どもたちの未来を考える団体との連携にも、取り組み始めました。これについては、またの機会に詳しくお話ししたいと思います。
が、先月号でも紹介したように、一緒にクリスマスイベントを開催し、多くの市民が来場されました。これからも、「子どもたちの未来のために」といったビジョンを共有しながら、他団体と協働の取り組みを進めたいと考えています。
筆者：それでは、締め括りに、今年の抱負を。
学長：「交野を盛り上げたい！」と思っている方は沢山いらっしゃると思います。そんな方々とお会いして、夢を語り合いたいですね。夢は「やりたい！」の原動力となりますので。色んな方々と、ざっくばらんに話させてください。よろしくお願いします。
筆者：ありがとうございます。
篠崎学長に、熱い思いを語っていただきました。交野おりひめ大学学科生の募集は随時行なっています。私たちと一緒にあなたの「やりたい！」を始めてみませんか。お申し込みは、大学ホームページから(左のQRコード)お待ちしております！